

かいのくに子ども観光大使2017 山梨の桃で桃タルト作りを体験しよう

2017.7.23 (日)

南アルプス市健康福祉センター



山梨の桃で桃タルト作りを体験しよう

日本一の生産量を誇る山梨の桃

「桃」みずみずしく甘い香りが広がる山梨の夏のフルーツの代表格。

今回の子ども観光大使の活動では、山梨の味覚「桃」について学び、保護者と一緒に桃タルト作りをしたり、桃の歴史や品種、美味しい食べ方についての学習したりすることで、自分たちの住んでいる山梨県のことを新しく知って、もっと山梨のことを好きになる、そういった活動を行いました。

子ども41名・大人27名、合計68名(午前・午後合わせて)の参加者にお集まりいただき、大人数のなかで、楽しく活動をすることができました。

保護者と一緒に考えた 山梨の夏の味覚

今回、子ども観光大使たちは、桃について学びました。

桃が日本でいつごろから栽培されるようになったのかという歴史や生産量の多い代表的な品種、おいしい桃の見分け方のコツなどについて学びました。

学んだあとは検定試験です。お友達と協力したり、保護者に聞いたりしながら問題に答えます。

いよいよ答え合わせ。ドキドキしながら丸つけの様子を見守る観光大使。「合格!」の声に大喜び。観光大使が誕生した瞬間でした。



子ども観光大使とは

自分たちの住んでいる市町村の、今まで知らなかった良さに気づくことができる子ども、自分たちの住んでいる市町村のことがもっと好きになって、誇りを持てるようになる子ども、そして、知ったり学んだりした良さを発信していく子ども。それが子ども観光大使です。

山梨県だけでなく、静岡県や栃木県、山形県などでも、子ども観光大使が数多く生まれています。子どもが地元地域のことを好きになり誇りを持ってくると、とても好評です。

子ども観光大使になるための3つの条件

- ①子ども観光大使の講座に3回以上参加すること
- ②観光ハガキ・観光俳句・観光動画のいずれかで、山梨の良さを発信すること
- ③「子ども観光大使検定」に合格すること

子ども観光大使は、桃タルト作りを体験しました。

まず、桃を白ワインと水で煮て、コンポート作りから作業がスタート。粗熱をとった桃の皮はすっとむけて、きれいな白い桃に大変身。

次にタルト作り。材料を混ぜ、型にタルト生地を成形します。保護者と一緒になって楽しみながら活動を進めます。子ども観光大使と保護者との会話もとても楽しそうです。

子ども観光大使と保護者が一緒に活動することで、地域のことを好きになるだけでなく、お互いの良さも改めて知り合うこともできます。



かいのくに子ども観光大使2017 山梨の桃で桃タルト作りを体験しよう

数多くの観光大使が誕生しました！



参加した方々の感想

- タルト作りは難しいと思い、なかなかできませんでしたが、思っていたよりも作りやすく、また作ろうと思います。娘も興味を持ち、積極的に参加でき、良い機会となりました。
- 山梨県産のもので料理ができるのは、とても嬉しいです。子供達も自分の県の特産を知ってもらい、大切にしていってほしいと思います。楽しい体験でした。
- 桃タルト作りは2人とも初めてで試行錯誤しながらも楽しく取り組んでいました。桃クイズも説明を聞いて真剣に回答していました。楽しい企画を毎年ありがとうございます。
- 身近な果物を使ってのタルト作りということで楽しんでできる工程で、娘がリードして作ってくれました。頼もしい一面も見れました。
- 子供達が自主的に活動してくれていたのも、とても嬉しかったです。タルトも思っていたよりも少ない材料で作れてよかったです。
- 南アルプス市にいてたくさん桃を食べてきましたが、桃を割るという体験を初めてしました。半分になった桃が綺麗に丸々としていてコンポートになったのは感動でした。タルト作りだけでなく、試食したり桃クイズをしたりして、いろいろな活動があつて楽しめました。
- 孫と一緒に桃タルト作りができ、たのしかったです。親子のふれあいがよかったです。
- 説明が丁寧でわかりやすかったです。工程をわけての説明だったので、思った以上に簡単に感じて、また家でも作ってみたいです。